



2026年

9月

中国四国農政局
鳥取県拠点

琴浦町に「TOTTORI星乃丘ワイナリー」がオープン

令和8年8月23日、琴浦町に「TOTTORI星乃丘ワイナリー」がグランドオープンしました。運営する株式会社TOTTORI星乃丘ワイナリーは、同じく琴浦町で農福連携事業を行うフジオグループの関連会社であり、地域振興を目指して事業に取り組んでいます。令和8年のぶどう栽培面積は約6haで、収穫量は約3tを見込んでいます。栽培品種はシャルドネ、メルロー、ヤマソービニオンの3品種で、令和9年春には琴浦町産ぶどう100%のワイン約3,000本が製造できる予定です。



ワイナリー入り口の様子



店内外から見える景色

琴浦町の小高い丘に位置する同ワイナリーは、眼下に広がるぶどう畑や風車、その先に日本海が一望できるロケーションにあります。もともとは遊休農地であった土地を令和元年頃から整備し、今では、豊かなぶどう畑が広がる景観へと生まれかわりました。

ぶどう栽培は、フジオグループへ作業を委託し、化学肥料を使用しない環境に配慮した方法で行っています。

今後は、更に約1haの遊休農地を再生し、ぶどう畑を約7haまで拡大する計画です。こうした取組は、琴浦町の遊休農地解消にも貢献しています。

同ワイナリーは、琴浦町の地域活性化を図る中核的な取組として、ぶどうの栽培からワインの生産・販売まで手掛ける6次産業化を推進しています。取材に応じた仁田社長は、「琴浦町といえばワインの産地と言われることを目指し、地域との連携活動も積極的に取り組んでいる。同ワイナリーが町づくりの中心的な役割を担い、地域振興につなげていきたい。」と抱負を語りました。

また、今後は各種イベントの開催に加え、宿泊施設や飲食スペースの整備も構想しており、地域住民と来訪者が交流する地域コミュニティのひとつの拠点として期待されており、農村の持続可能な町づくりの実践事例としても注目されています。